

弊社サイトのご案内



旅行プランのオンライン検索・予約のほか、充実した関連サービスをお届けしています。

<http://www.knt.co.jp>



会社案内・IR情報ページでは、経営情報、各種IR情報を閲覧いただけます。

<http://www.knt.co.jp/kouhou>



実績と信頼の
国内パッケージツアー
「メイト」



多彩なプランと快適な
海外パッケージツアー
「ホリデイ」



PCで!モバイルで!
いつでもどこでも簡単予約
宿泊予約サイト「ステイプラス」
<http://stayplus.jp>



次は、もっと自由に!
航空券と宿泊の選択組み合わせ
海外旅行ダイナミックパッケージ
「旅せるふ」
<http://tabiself.com>



訪れた地での幅広い過ごし方を
提案、紹介するサイト
「旅の発見」
<http://tabihatsu.jp>

免責事項

本株主通信に掲載している将来に関する予想については、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、異なる場合があることをご承知おきください。

近畿日本ツーリスト株式会社

株主通信

第71期 平成20年1月1日～平成20年12月31日

INDEX

株主の皆さまへ	1
事業別の概況	3
TOPICS	4
「!」を創造する舞台裏	7
環境への取組み	9
連結財務諸表	11
個別財務諸表	13
企業理念／会社概要／株主メモ	14



カタチにします。ときめき・キラメキ・おもてなし



株主の皆さまへ



代表取締役社長

吉川 勝久

株主の皆さまには益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、平成20年12月31日をもちまして第71期の決算を行いましたので、ご報告申し上げます。

事業の概況 (平成20年1月1日から平成20年12月31日まで)

当期のわが国経済は、期前半から弱含みで推移し、さらに期後半に至っては米国の金融危機に端を発する世界経済の低迷により急速な景気悪化の局面を迎えました。

旅行業界におきましては、燃油サーチャージの高騰による海外旅行の手控えに加え、急激な経済環境悪化の影響を強く受け、低調のうちに推移しました。

このような経営環境のもと、当社におきましては、諸施策を推進するとともにコスト削減を進め、業績の確保に懸命の努力を傾けてまいりました。

まず、平成20年1月に事業部門ごとの自立経営体制を確立するとともに、より競争力の高い商品を提供するため、事業再編を柱とする経営改革を実行しました。具体的には、

当社の店頭販売事業を株式会社ツーリストサービスに承継させ、同社の商号を株式会社KNTツーリストに変更いたしました。これと同時に当社の組織体制を、地域別のカンパニー体制から5つの事業別ユニットに再編するとともに、商品企画部門と仕入部門を統合しました。また、11月には、経営戦略機能および営業戦略機能の強化を図るため、経営戦略本部を新設しました。

営業面では、「北京オリンピック」などのスポーツイベント関連旅行のほか、当社独自イベント「まつりインハワイ」「琉球の祭典」を実施しました。さらに、旅行業界初のロタ島チャーター商品を販売したほか、多様化、高度化するお客さまのニーズに的確に対応するため、クラブツーリズム株式会社と業務提携いたしました。

また、来期以降の退職給付費用を削減するため、退職手当金制度を廃止し、確定拠出年金へ移換もしくは一時金として清算いたしました。

当社グループにおきましては、店頭販売専門会社である株式会社KNTツーリストにおいて、マーケットへの迅速な対応とお客さまから支持を得られる店づくり・人づくりを推進いたしました。また、角川グループと共同で新会社株式会社ティー・ゲートを設立し、体験型旅行商品を扱う総合トラベルサイト「旅の発見」を立ち上げました。

しかしながら、全体として売上げの不振が続き、退職手当金制度の廃止に伴う特別損失計上等もあり、連結・個別とも当期純損失を計上することとなりました。つきましては、誠に遺憾ではございますが、期末配当は見送りとさせていただきます。株主の皆さまには、深くお詫び申し上げます。

なお、当社グループの業績は、次のとおりです。

	業績(百万円)	前期比
営業収益	73,549	9.4%減
営業利益	△3,186	—
経常利益	△3,157	—
当期純利益	△3,738	—

対処すべき課題

今後につきましては、わが国経済は後退局面を迎え、厳しい状況が想定されます。旅行業界におきましても全体として需要の減退が懸念されますが、一方原油価格の下落や円高基調といった追い風も予想されます。

このような情勢のもと、当社は平成21年度からスタートする中期経営計画を策定しました。本計画では、当期に実施した事業再編を土台として、各事業ユニットが専門性、独自性、効率性を徹底的に追求し、安定的な利益を創出する構造への改革を進めます。

個人旅行の中心である「メイト」「ホリデイ」において、お客さまの声に徹底的にこだわり、独自性、競争優位性のある商品を提供します。同時に業務フローの見直し、販売チャネルの増強、効果的な宣伝の追求等を推進してまいります。団体旅行におきましては、教育、自治体、法人等を中心に、企画提案等を基本とした地域密着型営業の徹底に加え、全国横断組織の強みを活かした展開を図ります。新たな成長領域である訪日旅行の開拓として、欧米の団体マーケットを開発し取扱いを拡大します。さらに外国人向け宿

泊サイトを英・韓・中に多言語化し、個人旅行の拡大を目指します。また、大規模スポーツイベント関連事業等に積極的に取り組み、eコマース市場においては、掲載商品の質・量や操作性・スピードの向上を通じて販売拡大を図ります。

これらの戦略をスピードアップさせるために、他社との提携やM&Aを積極的に推進いたします。

一方、費用については、固定的費用のより一層の圧縮をはじめ、不採算部門の撤退迅速化、業務の効率化施策の推進など、より踏み込んだ見直しを図り、収入に見合う構造への転換を進めます。

このほか、損害保険業においてはリスクヘッジを最優先課題として、安定経営に努めます。また、グループ会社利用の徹底と外部需要取込みの積極的な展開によるグループ利益の最大化を目指します。

このような活動を進めていく上で、当社グループ共通の行動規範として「常にお客さまの立場に立つこと」を掲げ、CSを推進するとともに、「KNT」グループのブランド強化につなげてまいります。

また、お客さまからの信頼性の向上を目指し、コンプライアンス、リスクマネジメントとともに、内部統制を徹底いたします。

これらの諸施策を強力に推進し、速やかに業績の回復を果たすとともに、持続的な成長を可能とする経営基盤を構築し、株主の皆さまのご期待に応える所存でございますので、今後とも何卒倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年3月

当社グループの事業別の概況は、次のとおりです。

旅行業

国内旅行

団体旅行につきましては、学生団体は、沖縄伊江島等において一般家庭に宿泊し体験学習を行う「民泊」の提案などに力を注ぎ、順調に推移しました。一般団体は、「洞爺湖サミット」関連業務や企業団体の取扱いに積極的に取り組みましたが、厳しい結果に終わりました。

個人旅行につきましては、メイトは、「日本讃歌シリーズ」に新コースを加え、テーマ性のある商品で内容充実を図りました。方面別では、東京ディズニーリゾート25周年記念商品と、NHK大河ドラマ「篤姫」が人気の九州方面の商品が堅調に推移しましたが、全体としては振るいませんでした。

海外旅行

団体旅行につきましては、「北京オリンピック」等イベント関連旅行の取扱いに努め、個人旅行につきましては、前記の口タ島チャーター商品のほか、スイスチャーター商品、韓国方面等が好調でしたが、海外旅行全体としては、燃油サーチャージの高騰に加え、中国方面が地震や食の安全の問題で大きく落ち込み、さらには後半に景気動向の急激な悪化の影響を受けたことから、低迷しました。

その他

人材派遣業においては、リゾート関連施設への営業強化を図り、また旅行関連サービスにおいては、パンフレット等の古紙へのリサイクルなど環境関連事業に取り組みました。

これらの結果、旅行業全体の営業収益は、次のとおりです。

	営業収益(百万円)	前期比
国内旅行	51,864	3.6%増
海外旅行	27,935	6.3%減
その他	6,973	9.8%減
消去	△14,540	—
合計	72,233	9.4%減

(注)1. 前期に一部株式を譲渡したことにより、株式会社箱根高原ホテルほか2社が連結子会社から持分法適用の関連会社に異動いたしました。これにより、従来の「その他事業」はその重要性が乏しくなったため、当期から「旅行業・その他」に含めることとし、前期実績につきましても「その他事業」を「旅行業・その他」に含め、前期比を算出しております。

2. 当期、吸収分割により当社の店頭販売事業を株式会社KNTツーリストに承継させました。この事業承継の結果、当期の国内旅行および海外旅行の両営業収益については、承継分の大半が両社ともに計上され、単純合算されております。

損害保険業

損害保険業の営業収益は、次のとおりであり、前期を下まわりました。

	営業収益(百万円)	前期比
損害保険	1,316	7.2%減

世界中から応募が多数 大反響の「トカラ皆既日食観測ツアー」



撮影:写真家 宮城隆史
太陽がすべて隠れる直前と直後に光が1カ所だけ漏れ出て輝く「ダイヤモンドリング」

平成21年7月22日、今世紀最長といわれる皆既日食が起こります。鹿児島県十島村に属すトカラ列島は、この皆既日食を世界で一番長く陸上観測できるポイントです。

十島村は日本のみならず世界中から注目を浴びるようになりましたが、村には、日食観測者が殺到した場合にそれを受け入れるだけのインフラがなく、対応に苦慮されていきました。そこでKNTでは、期間中の観測者の受け入れ管理を提案しようと十島村に営業活動を開始。平成19年5月に、村の環境と住民の生活の維持を第一とした受け入れ態勢やそのための必要事項、観測ツアー参加者の行動特性などを盛り込んだ受け入れ実施計画を提案し、競合の末、

トカラ列島とは?

トカラ列島は鹿児島県十島村に属し、屋久島と奄美大島の間に点在する有人7島、無人5島からなる離島群。有人各島には50名~70名の島民が静かに暮らしています。

今回のトカラ列島での皆既継続時間(完全に太陽が隠れる時間)は6分20秒台と今世紀最長。その最高の観測スポットは、トカラ列島の中でも神々が島中に居る「悪石島(アクセキジマ)」です。



ツアー専用サイト <http://www.knt.co.jp/eclipse>

撮影:写真家 宮城隆史

受注に至りました。

受注の要因としては、KNTのこれまでの皆既日食観測ツアーの豊富な経験に基づく提案もさることながら、特にインフラ整備予算がないという村の事情を考慮し、予算確保に受益者負担方式を取り入れ、ごみ処理やし尿処理など、村の立場に立った細かな問題解決策を提案したことが評価されました。

本ツアーの参加者を募集するにあたり、海外では世界的な天文誌のサイトに募集広告を掲載、国内ではKNTのホームページで専用サイトを立ち上げてプロモーションを展開しています。期間中の来島最大人員を1,500名に設定し、第1期から第2期まで2度の募集をしたところ、定員の約2倍もの応募があり、予想を上まわる大反響となりました。また、平成21年3月5日から第3期の募集を開始しています。

ちなみに、日本で今世紀中に観測できる主な皆既日食は3回。第2回は平成47年、第3回は平成75年の予定です。

ベストシーズンに行く チャーター直行便でスイスの旅

KNTは平成19年から、夏休みのベストシーズンにチャーター直行便で行く海外パッケージホリデイ「スイス8日間」を発売し、毎回好評を博してきました。利用するのは、スイスのチャーター専門航空会社であるエーデルワイス航空。平成17年にはベスト・チャーター・エアラインに選ばれ、質の高いサービスと可愛いロゴ入り機内販売グッズで人気を集めています。通常のヨーロッパ内乗り継ぎ便と比較すると所要時間を短縮できるのも魅力です。

ご好評に応じて平成21年は、従来からの札幌・仙台・名古屋・中部・関空・広島・福岡からのチャーター直行便就航

に加え、福島・静岡・岡山・高松にも就航地を拡大。さらに多くのお客さまにお楽しみいただけるようになりました。



日本とハワイの友好の架け橋 「第30回 まつりインハワイ」開催

KNTは日本とハワイの文化・芸術・芸能を通じた交流の架け橋として毎年オアフ島で開催される「第30回まつりインハワイ」の参加申し込みを受け付けています。開催期間は平成21年6月5日から7日までの3日間です。

「まつりインハワイ」は昭和55年にスタートしたイベントで、平成21年に30回目という節目の年を迎えます。舞台は、アメリカ合衆国の州となって平成21年に50周年を迎えるハワイ州のオアフ島・ホノルル。毎年、全国各地から約4,000人が参加し、これまでの30年間で延べ10万人のお客さまに楽しんでいただきました。

歴史と文化に育まれた郷土芸能、伝統芸能などを紹介するイベントとして定着し、現在ではハワイ州公認の文化イベントとして最大級の規模となっています。歴史を重ねるごとに大規模なものとなり、日本だけでなく環太平洋の国々の文化や伝統と交流できる場となりました。今年から新しいシンボルマークも誕生し、新たな感動、新たな交流の輪を広げることができる「まつりインハワイ」の今後にご期待ください。



世界が集う。感動と友情に出会う。環太平洋友好の祭典

子育てママの旅行を応援 赤ちゃんルーム開設

KNTは平成18年9月にインターネットで、子連れ専用サイト「子どもとっしょ!」を公開、平成19年2月に0~3歳の乳幼児とご家族を対象に、乳幼児連れのお客さまへのさまざまな配慮がされた宿泊プラン「赤ちゃんといっしょ!」はじめての温泉デビュー・はじめてのテーマパーク」を販売しています。

好評につき、ベビー用品メーカー コンビ(株)の協力を得て店舗でもお申し込みいただけるメイト「赤ちゃんルームプラン」を企画しました。ゆっくりと旅行を楽しみたいと

考えているお客さまは大勢いらっしゃると思いますが、赤ちゃん連れの旅行は、荷物が多くなりがちで大変。「赤ちゃんルーム」は、ご両親をサポートする育児用具と、赤ちゃんを退屈させないためのおもちゃを取り揃えたお部屋にご宿泊いただくプランです。

その他、「マタニティプラン」をKNTホームページで好評発売中です。



携帯電話で簡単予約 「旅の発見」本格サービス開始

KNTと角川グループが共同出資する(株)ティー・ゲートは、遊び体験や学び体験を扱うテーマトラベルサイト「旅の発見」で、これまでのPC版に加え、新たにモバイル版でのサービスを平成20年11月から開始しました。

「旅の発見」は、体験プログラムの掲載数が日本最大。モバイル版スタート以降、体験プログラムをさらに充実させ、総数2万件近くの品揃えとなっています。野菜収穫や伝統漁業の体験、世界遺産など文化・自然との触れ合い、環境との調和を考えるエコツアーなど、いずれも地元の貴重な環境資源を活かした魅力あふれるプログラムばかりです。ちょっとした空き時間にも簡単に検索・予約できる携帯電話ならではのサービスを提供していきます。

体験プログラムの一例



京都・中京区
着物で過ごす
京の旅



静岡・富士宮市
パラグライダー
半日体験
フライトコース



山梨・南都留郡
日本版グランドキャニオンと
小富士火山コース



を 創造する舞台裏 Vol.2

KNTのツアー作り

商品を作る!編

お客さまに喜んでいただけるツアーを作るために、KNTはどんなステップを踏んで、どのように取り組んでいるのか——。企画から発売までのプロセスを簡単にお見せします。

1 企画会議

あれこれアイデアを出し合いながら、どんなツアーにするか決定します。通常、商品の企画から発売まではおよそ3カ月間。その最初のひと月を企画に費やします。

「疲れない?のんびりできたほうが…」

「離島巡りなんかいいと思うんですよ。」



2 航空会社やホテルとの交渉

ツアーごとのコンセプトにぴったりのホテルや飛行機を仕入。「高級感を演出したいからホテルはここ」「この時間の飛行機に乗れば、現地滞在時間が長く取れる!」…、良い条件を安い価格で実現するため、粘り強く交渉します。



首都圏仕入メイト事業部
メイト企画3課
布施さやか

3 パンフレット作成

ツアーの具体的な内容やその魅力がわかりやすいように表現するのはもちろん、掲載文字にまさかの間違いがないよう、入念にチェック!



4 発売

「選んでいただけるツアープラン」を作りたい

企画段階こそ何人かで話し合っても、最終的にどんなツアーにするかは担当者しだい。発売後も「どれぐらいのお客さまがお申し込みくださったか」と、つい気になって何度も売れ行きを確認します。売れている(選ばれている)ときは思わずガッツポーズ!逆にいまいち売れていないときは、何がよくないのか考え、改善のポイントを探します。

商品を売る!編

KNTでは、「旅」のスタイルを日々進化させ、より良いものにするため絶えず「挑戦」をしています。この度、幅広い世代に人気がある「ガチャピン・ムック」に宣伝部員として入社してもらいました。旅そのものが「体験」(=いろいろなことにチャレンジする元気いっぱいのガチャピン)、旅は「グルメ・癒し」(=食いしん坊でのんびり屋のムック)と、ガチャピン・ムックそれぞれの個性が旅との親和性が高いことから、私たちと共に積極的なPRと新たな「挑戦」を展開していきます。

プロフィール

<p>チャレンジ部長 ガチャピン</p> <p>恐竜の子ども。年齢は5歳。生まれたのは南の島。元気でよくよしない性格。ちよっとおっちょこちょい。スポーツ全般を得意とし、冒険が趣味。</p>	<p>グルメ部長 ムック</p> <p>雪男の子ども。年齢は5歳。生まれは北極近くの島。やさしくてのんびり屋さんだけど意外と慎重派。特技は何でも食べること。</p>
---	---



キャンペーンで地域を盛りあげていますぞ!



夏のキャンペーンなどではKNTオリジナルのグッズをお客さまにプレゼントしたんだよ!



平成20年10月から平成21年3月の期間限定でカステラをプレゼントしました。



ORIGINAL GOODS

ツアー商品も作りました!

宣伝部員のガチャピンとムックは、ときには商品も作っています。お客さまが楽しい旅に出会えますように!



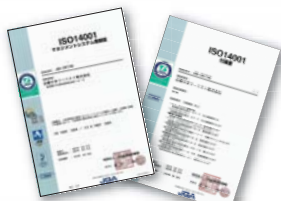
自社の環境負荷削減と、旅を通して自然や文化の大切さを お客さまにご理解いただくことがKNTの役割だと考えています。

Q KNTの環境保全への取組みは？

A 環境管理の国際標準規格である
ISO14001を全社で認証取得して
環境保全活動に取り組んでいます。

KNTは、平成13年に総合旅行会社としては業界で初めてISO14001を取得し、環境方針を定め、企業の社会的責任として環境保全活動に取り組んでいます。

オフィスでの環境負荷低減活動と環境に配慮したツアーや環境保全意識の育成に役立つツアーの企画・販売、この2つの側面で活動レベルを向上させています。



ISO14001
マネジメントシステム登録証

Q 地球温暖化防止のために実施していることは？

A 電気の使用量削減を中心に
取り組んでいます。

店舗やオフィスにお越しになられたお客さまにご不便をかけないように配慮しながら「夏の冷房28℃設定」を推進しています。

また、事務所スペースを集約して照明や空調の無駄をなくすほか、照明そのものを省エネタイプに替えて省エネルギーを進めています。

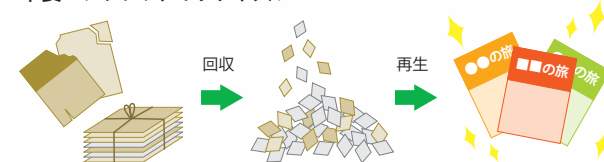
Q ごみの削減、資源の有効活用のための活動は？

A 無駄のないパンフレットの作製に努め、
不要となったパンフレットは
リサイクルを進めています。

パンフレットは旅行内容を想像していただくための重要な媒体です。KNTでは年間約2億冊を作製していますが、パンフレットを主とする物流を見直すなかで、不要分をリサイクルする仕組みを整えました。平成18年から全国規模で実施しています。

また、作りすぎをなくすための適正な管理も同時に実施しています。

不要パンフレットのリサイクル



Q 環境保全をテーマにした旅行の企画などは？

A 「環境学習旅行」やエコツアーを企画・販売し、
取扱い人数を増やしています。

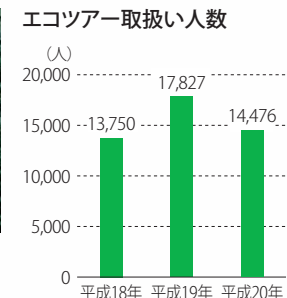
環境学習は教科の枠を超えた総合的な学習であるといわれています。KNTでは、中学・高校生の修学旅行や宿泊学習を主な対象に、さまざまな環境学習素材にふれ、何か

を感じて関心を呼び起こすことを第一義に考えた「環境学習旅行」を全国で200コース設定し、好評を博しています。

エコツアーとは、①自然を観察・体験しながらその仕組みを学ぶ②生き物や自然環境を保護する活動に参加する③昔の貴重な遺産を知り、それを大切にすることを意識を育む④環境への悪影響を最小に抑える努力が示されている⑤訪問先に経済的・社会的な貢献がある、などの要素を含むツアーのこと。KNTでは、メイトで多種多様なエコツアーを販売しています。



エコツアーの一つ「屋久島エコツアー」では、縄文杉の生命力や自然の偉大さを感じることができます。



Q 環境に配慮したホテルを選ぶことはできますか？

A 環境対策に取り組んでいる
ホテルを3段階で評価し、
パンフレットで紹介しています。

KNTでは各ホテルに対し環境方針制定の有無、環境対応の状況についての50項目のアンケート調査を実施し、その結果に応じて3段階で評価し「エコメイト1」「エコメイト2」「エコメイト3」として一部パンフレット上でマーク表示をしています。



エコメイト1
環境方針を策定している。



エコメイト2
環境方針を策定し、廃棄物削減、省エネ・省資源、グリーン購入、従業員教育、お客さまへの協力をお願い、取引先への対応、情報公開などの環境保全活動を積極的に行っている。



エコメイト3
エコメイト2に加えて、第三者認証（ISO14001など）や地域の環境組織に参加し、基準に沿った取り組みを行っている。

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	第71期期末 平成20年12月31日現在
資産の部	
流動資産	92,932
現金・預金	28,699
預け金	22,800
受取手形及び営業未収金	20,127
未収手数料	5,301
未渡クーポン	1,136
たな卸資産	83
前払費用	1,074
団体前払金	11,026
繰延税金資産	1,300
未収法人税等	46
その他	1,382
貸倒引当金	△46
固定資産	30,316
有形固定資産	7,339
建物	2,280
土地	4,441
その他	617
無形固定資産	4,516
ソフトウェア	3,284
ソフトウェア仮勘定	294
のれん	818
その他	119
投資その他の資産	18,461
投資有価証券	6,462
長期貸付金	362
差入保証金	6,124
繰延税金資産	2,932
その他	3,175
貸倒引当金	△596
資産合計	123,248

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位:百万円)

科目	第71期期末 平成20年12月31日現在
負債および純資産の部	
流動負債	101,333
短期借入金	160
営業未払金	12,884
未払金	7,773
未払法人税等	600
預り金	22,714
未精算旅行券	38,726
団体前受金	13,955
賞与引当金	775
繰延税金負債	4
その他	3,736
固定負債	10,966
長期借入金	2
退職給付引当金	551
旅行券等引換引当金	2,749
その他	7,663
負債合計	112,299
株主資本	10,893
資本金	7,579
資本剰余金	4,930
利益剰余金	△1,459
自己株式	△156
評価・換算差額等	△265
その他有価証券評価差額金	244
繰延ヘッジ損益	△718
為替換算調整勘定	208
少数株主持分	321
純資産合計	10,949
負債および純資産合計	123,248

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	第71期 平成20年 1月 1日から 平成20年12月31日まで
営業収益	73,549
営業費用	76,736
営業損失	3,186
営業外収益	822
受取利息	603
受取配当金	141
その他	77
営業外費用	793
支払利息	104
持分法による投資損失	7
為替差損	655
その他	25
経常損失	3,157
特別利益	6,247
投資有価証券売却益	4,493
関係会社株式売却益	1,314
固定資産売却益	6
その他	432
特別損失	7,513
退職一時金制度清算損	6,574
事業再編関連費用	274
固定資産除却損	92
その他	572
税金等調整前当期純損失	4,424
法人税、住民税及び事業税	734
法人税等調整額	△1,358
少数株主損失	62
当期純損失	3,738

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結株主資本等変動計算書 第71期(平成20年1月1日から平成20年12月31日まで) (単位:百万円)

	平成 19年 12月31日 残高	連結会計期間中の変動額				連結 会計 期間中 の変動額 合計	平成 20年 12月31日 残高
		当期 純損失 (△)	自己 株式 の 取得	持分 比率 の 変動	株主資本 以外の項目の 連結会計 期間中の 変動額 (純額)		
株主資本	資本金	7,579				—	7,579
	資本剰余金	4,975		△44		△44	4,930
	利益剰余金	2,278	△3,738			△3,738	△1,459
	自己株式	△712		△6	562	555	△156
	株主資本合計	14,120	△3,738	△6	518	△3,226	10,893
評価・換算差額等	その他有価証券 評価 差額金	9,832			△9,588	△9,588	244
	繰延 ヘッジ 損益	183			△901	△901	△718
	為替換算 調整勘定	275			△66	△66	208
	評価・ 換算 差額等 合計	10,290			△10,556	△10,556	△265
少数株主持分	24			296	296	321	
純資産合計	24,436	△3,738	△6	518	△10,259	△13,486	10,949

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

個別財務諸表

貸借対照表

(単位:百万円)

科目	第71期期末 平成20年 12月31日現在	科目	第71期期末 平成20年 12月31日現在
資産の部		負債および純資産の部	
流動資産	86,336	流動負債	96,273
現金・預金	21,997	短期借入金	6,540
預け金	22,800	営業未払金	9,147
受取手形	56	未払金	6,977
未収手数料	5,090	未払法人税等	304
未渡クーポン	636	未払費用	53
営業未収金	21,823	預り金	20,588
商品	18	未精算旅行券	37,700
貯蔵品	37	団体前受金	13,539
前払費用	687	賞与引当金	253
団体前払金	10,708	為替予約	1,120
繰延税金資産	1,030	その他流動負債	47
その他流動資産	1,502	固定負債	10,257
貸倒引当金	△53	長期借入金	2
固定資産	28,372	旅行券等引換引当金	2,749
有形固定資産	6,175	その他固定負債	7,506
建物	1,597	負債合計	106,530
器具備品	329	株主資本	9,151
土地	4,248	資本金	7,579
無形固定資産	3,573	資本剰余金	4,765
電話加入権	1	資本準備金	3,205
施設利用権	38	その他資本剰余金	1,560
ソフトウェア	3,240	利益剰余金	△3,182
ソフトウェア仮勘定	294	その他利益剰余金	△3,182
投資その他の資産	18,622	繰越利益剰余金	△3,182
投資有価証券	2,824	自己株式	△11
関係会社株式	8,168	評価・換算差額等	△973
長期貸付金	2,257	その他有価証券評価差額金	△308
敷金・保証金	2,664	繰延ヘッジ損益	△664
繰延税金資産	2,650	純資産合計	8,177
その他投資等	2,842	負債および純資産合計	114,708
貸倒引当金	△622		
投資損失引当金	△2,164		
資産合計	114,708		

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

(単位:百万円)

科目	第71期 平成20年 1月 1日から 平成20年12月31日まで
営業収益	60,193
国内旅行収益	40,826
海外旅行収益	17,325
営業雑収	2,040
営業費用	62,581
販売費及び一般管理費	62,581
営業損失	2,388
営業外収益	1,054
受取利息・配当金	997
雑収入	56
営業外費用	864
支払利息	179
為替差損	661
雑損失	23
経常損失	2,199
特別利益	5,722
投資有価証券売却益	4,493
関係会社株式売却益	792
固定資産売却益	5
その他特別利益	430
特別損失	7,741
退職一時金制度清算損	6,574
事業再編による抱合株式消滅差損	410
事業再編関連費用	248
固定資産除却損	37
その他特別損失	469
税引前当期純損失	4,218
法人税、住民税及び事業税	297
法人税等調整額	△1,097
当期純損失	3,418

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

企業理念

「KNTは世界中の人々の出会いと感動を創造し、
笑顔あふれる社会の実現にチャレンジしていきます。」

企業ブランド名



企業ブランドロゴマーク



会社概要

商号	近畿日本ツーリスト株式会社	取締役および監査役 (平成21年3月27日現在)	
設立	昭和22年5月	取締役会長	山口 昌紀
創立	昭和30年9月	代表取締役社長	吉川 勝久
本社	東京都千代田区神田松永町19番の2 電話番号 (03)3255-7115	代表取締役副社長	瀬戸 恒好
資本金	7,579百万円	専務取締役	馬越 俊司
発行済株式総数	96,175,121株	専務取締役	越智 良典
		常務取締役	斎藤 彰英
		取締役	市井 正之
		取締役	遠藤 昭夫
		取締役	小川 亘
		取締役	向山 秀昭
		取締役	西野目 信雄
		取締役	辻本 博圭
		取締役	伊藤 淑雄
		取締役	岩橋 伸行
		監査役(常勤)	岡崎 尋幸
		監査役(常勤)	大塚 政夫
		監査役	岸田 雅雄
		監査役	植田 和保

株主メモ

単元株式数	1,000株	上場証券取引所	東京・大阪 市場第1部
事業年度	1月1日から12月31日まで	株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
基準日	定時株主総会関係 12月31日 期末配当支払株主確定関係 12月31日 中間配当支払株主確定関係 6月30日 その他 あらかじめ公告する日	特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
定時株主総会	3月中	同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話番号 (0120) 232-711 (フリーダイヤル)
公告方法	電子公告 http://www.knt.co.jp/kouhou/e-koukoku ただし、電子公告によることができない場合は、 日本経済新聞に掲載		

ご注意:株式に関するお手続きについて

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記載された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。